

成和西小 学校だより

令和8年7月13日(月)

伊賀市立成和西小学校 No. 10

伊賀市大内624番地

<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

プール水泳授業

6月24日(水)に全校で「プール開き」を行い、今年度のプール水泳の授業がスタートしました。はじめに、水泳授業の約束を確認し合い、体操、シャワーの後、いよいよ入水し、子どもたちは歓声をあげながら、水の感触を確かめていました。1・2年生は低学年プール、3～6年は高学年プールに分かれ、プール内を歩いたり、浮いてみたりしてみんなで楽しみました。

29日(月)からは本格的に授業が始まり、各学年のめあて、各自のめあてをもって取り組みました。回数を重ねるに当たってだんだんと水に慣れ、低学年では抵抗なく顔を水につけられるようになったり浮けるようになったりしていました。高学年では体の力を抜いて伏し浮きや蹴伸びができるようになり、泳ぎにも挑戦していました。

限られた時間の中での授業でしたが、子どもたちは安全に元気にがんばりました。保護者の皆様には、水泳用具の準備、水泳カードへの記入・押印、体調管理などご協力いただきありがとうございました。



5年生人権学習

6月30日(火)、伊賀市役所多文化共生課の中原慧敏さんからお話を聞きました。上海(中国)出身の慧敏さんは日本に来て31年たつこと、上海の人口や小籠包、上海焼きそばなどのおいしい料理についてまず教えていただきました。次に、伊賀市には45カ国6385人(2026.3現在)の外国人が住ん

でいること、一番多いのがブラジル、2番目がベトナム、3番目がフィリピン、4番目が中国であること、自分たちの身近にたくさんの外国人の方が暮らしていることを教えていただきました。「外国人はみ





「みんな英語が話せる」「世界中、家族はみんな同じ苗字を名乗る」などの「〇×クイズ」も交えながら話していただき、さまざまな国の人たちがそれぞれの国の言語を使って暮らしていること、日本のように家族が同じ苗字を名乗る国ばかりではないことを知りました。そして「多文化共生」とは「そうした違いを認め合いながら、助け合って暮らす」こと、笑顔で挨拶することや困っていたら大丈夫

と声をかけることがみんなにはできることだと教えていただきました。最後に、「世界にはいろいろな文化がある。違いはまちがいでではなく、個性。友だちの違いを知ることによって自分の世界を広げていってほしい。」とメッセージをいただきました。

ねんせいそぜいきょうしつ 6年生租税教室

7月3日(金)、伊賀法人会の方による租税教室が行われました。まずはじめに「救急車1台はいくらか」「学校を建てるのにいくらかかるか」など、子どもたちの身近にあるものにどれくらい税金が使われているかをクイズ形式で教えていただきました。次に、子どもたちの身近な消費税がどのような流れで私たちの暮らしに役立っているか、その仕組みを図解で説明いただきました。最後に、「もし税金がなかったら、自分たちのくらしはどうなるのか。」を表したアニメを視聴し、自分たちが当たり前のように無料で利用している公園や道路がなくなったり、自分たちの暮らしを支えている警察の仕事やゴミ処理をしてくれる人がいなくなったりすることに気づきました。税金は私たちがよりよく暮らすためになくてはならないものであることを学ぶことができました。

